



#### 4 最近の医療事情等

(1) 1月19日、マレーシアでデング熱による邦人死亡例が発生したことを受けて、1月23日付注意喚起メールを発出した。一般的にデング熱は大部分が問題なく軽快する病気で、あまり過大に恐れる必要はないが、一部の患者が重篤化することもあり、また蚊が媒介する疾患を予防する意味でも、日常からの防蚊対策が重要である。

(2) 先日、当地を訪問中の邦人が高熱を呈し、当地クリニックなど複数施設でデング熱検査を行ったところ連続3回陽性反応となった。しかし同時に行ったインフルエンザ検査も陽性反応が出て、臨床的にもインフルエンザを疑わせる所見であったことから、より詳細なデング熱検査を行ったところ、デング熱は否定された。

このように、当地で一般的に行われているデング熱の簡易検査(NS-1抗原測定)は比較的感度の高い検査とされているが、デング熱と同属のウィルスや他のウィルス性疾患に罹患している場合、陽性反応が出やすく、デング熱と誤診されることがある。

特にジャカルタでは、もともとデング熱が当地の風土病であったこともあり、高熱が出た場合安易にデング熱と診断する傾向にあるので注意が必要である。

(3) 台湾において、2月4日、男性一人が鳥インフルエンザA(H7N9)により入院していることが発表された。この患者は中国本土の広東省へ渡航した際に感染。広東省では家禽の間に同ウィルスが存在しており、人への感染も確認されている。現在台湾と中国本土でこの患者に接触した100人以上の人々が監視下に置かれている。

インドネシアで鳥インフルエンザの家禽類及び人への感染は報告されていないが、旧正月に伴い広東省などから人の移動も多かったこともあり、引き続き情報収集が必要である。

#### 5 質疑応答、各社(団体)からの報告等

##### (質問)

路上強盗の被害を避けるために徒歩での移動は避けるようにとのことだが、OJEK(バイクタクシー)についてはどうか。

##### (回答)

路上強盗の被害とは別の話で、事故になった時の被害が大きいと想定されるので、できれば避けたほうが良いと思われる。

##### (質問)

外国人が携行する在留許可証としてITAS Onlineのカラー印刷で適法である、とのことだが、例えば携行しやすいように縮小することは可能か。

##### (回答)

明示的にサイズの要件を確認したわけではないが、縮小することで字が見にくくなり、在留許可証としての機能を果たさなくなる可能性もあり、同じ大きさの方が望ましいだろう。

##### (報告)

(1) 駐在員家族が盗難被害に遭ったので報告する。2月10日午後7時頃、シティウォーク内のパピヤスーパーにて、カートの中に財布の入った荷物を入れて買い物をしていたところ、子供に気を取られてカートから離れたすきに置き引きに遭った。マスクをした怪しげな人間がカートをこっそりと移動させていたとの情報がある。現金5万円相当、クレジットカードやキャッシュカードなどを盗まれ、警察での盗難手続が完了したところ。

(2) 未確認情報ながら、ガルーダインドネシア航空の国際線が4月にスカルノハッタ国際空港・第3ターミナルへ移転するとのうわさがある。詳報判明次第共有したい。

##### (報告) JJS

(1) 3月15日に卒業式が行われる。

(2) 生徒へのインフルエンザの流行がまだ続いており、教員へも広がっている。

次回の邦人安全対策連絡協議会は3月14日（火）午前11時から